

会 議 録

1 会議名

令和3年度第5回三和区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

（1）報告事項（公開）

- ・三和ネイチャーリングホテル米本陣のサウンディング型市場調査について

（2）その他（公開）

- ・「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた地域協議会における取組の検討について

3 開催日時

令和3年10月22日（金）午後6時30分から午後7時25分まで

4 開催場所

三和コミュニティプラザ 3階 多目的ホール

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者の氏名

- ・委員：飯田英利、池田輝幸、江口晃、小山田幸雄、小林則子、高橋鉄雄、田辺敏行、
富村広文、星野幸雄、松井隆夫、松栄由里、宮澤克己、森由美
(14人中13人出席)
- ・施設経営管理室：竹下室長、青柳副室長
- ・事務局：三和区総合事務所 金子所長、岩崎次長、丸田市民生活・福祉グループ兼教育・文化グループ長、小山地域振興班長

8 発言の内容（要旨）

【岩崎次長】

- ・会議の開会を宣言。
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告。

- ・同条例第8条第1項の規定により、議長は会長が務める。

【高橋会長】

－挨拶－

- ・先月の地域協議会で、過去に地域活動支援事業で取得したボートが新たな団体へ譲渡されたとの報告があった。長年懸案だった案件が解決し、魅力ある新しい活動が始まった。
- ・今日は議題に米本陣の案件があるが、皆さんからたくさん意見をいただいて、進んでいきたい。
- ・会議録の確認を、小林副会長に依頼。

【高橋会長】

3 報告事項に入る。(1) 三和ネイチャーリングホテル米本陣のサウンディング型市場調査について、施設経営管理室の説明を求める。

【施設経営管理室 竹下室長】

- ・資料No.1「三和ネイチャーリングホテル米本陣の有効活用に係るサウンディング型市場調査の結果について」資料に沿って説明。

【高橋会長】

ただ今の説明に、質疑等を求める。

【松井委員】

資料の3(1)参加事業者数について、事前説明会から提案までの数字の変化は何か。

【施設経営管理室 竹下室長】

事前説明会、現地見学会には参加したが、直接の対話に結び付かなかったということである。

【松井委員】

対話に参加しなかった事業者は、今後対象にならないということか。

【施設経営管理室 竹下室長】

現地を見て説明をさせていただく中で、相手方が、自分たちの事業展開とは異なると判断し、市との対話には入られなかったということなので、今後具体的に話を詰めていく対象とは、市としては見ていない。

【松井委員】

そうすると、3事業者が対象ということか。

【施設経営管理室 竹下室長】

結果的に3事業者と対話をさせていただいたが、プロポーザルで譲渡・貸付等を公募するということは、サウンディング型市場調査の結果とは別に、広く事業者を公募するということである。改めて市から条件を提示し、その条件なら手を挙げてみたいという方がいれば3件以上の提案も考えられる。

【松井委員】

そうすると、資料裏面のA者、B者、C者とは別の捉え方でよいのか。

【施設経営管理室 竹下室長】

今回の調査では、こういった施設の利活用を図りたい、こういった利活用を図るのであれば収支はこのように見込んでいるという程度の提案をいただいている段階であり、これを基に交渉させていただくという段階ではない。

今回、民間事業者の需要を調査し、その結果、譲渡・貸付の希望はあったので、次のステップである具体的な事業計画を提出していただき、その中身を確認する段階に進めさせていただきたいと考えている。

【松井委員】

個人的な意見としては、従来のホテル、温浴の形態は問題があるのではないかと思っている。市で赤字を補填しているような状態であってはならないし、資金力と営業力があり、自活で生き残れる事業主体でなければならない。今までの繰り返しであってはならない。

【小林副会長】

私は米本陣を応援したいというグループの代表であり、今は米本陣の状態を見守っている状況である。会員は280名程いる。今後の対応として、条件を整理していくとのことだが、年度が変わればというような見通しはあるのか。

【施設経営管理室 竹下室長】

当然担当課とすれば、早期の再開、活用を望んでいるが、早期にとってもこれから進めていけば令和4年4月くらいが目途になってくるかもしれない。進めるにしても先ほど松井委員がおっしゃったとおり、どのような業種、事業計画、収支計画で、5年、10年と末永く利活用していただけるのか等を見極める必要がある。提案があったからといって安易に決めても、そこが1年、2年でまた休館という形になれば本末転倒であり、やはり事業計画の精査は、市側も慎重にさせていただきたい。

ただ、長くなるほど再開が難しい部分があるので、担当課としては、やはり早めに決めていきたいという思いは持っている。

【宮澤委員】

市としては、完全民営化を想定しているのか。赤字になれば、また補填するということでは困る。さりとて、またすぐ潰れては話にならないため、厳しく審査してもらいたい。

【施設経営管理室 竹下室長】

完全民営化という言葉にそぐうか分からないが、民間事業者から、自分たちの採算ベースの中で施設を譲渡・貸付けを受けてという提案があったので、市の持ち出しがない中でできる可能性というものが見えている部分がある。まずは、そこを成就させるような取組をやっていきたいと考えている。

【小山田委員】

事前説明会が6社、現地見学会が4社、提案が3社等という結果に、先ずは一安心で、実際こういう業者がいるということ自体が良かったと個人的に思っている。あとは、先程も話が出ていたが、どのように堅実な形でやれるのか、それから実際に運営した時に、私たち住民がどのような形で支援、関わりをしていけるのかという別の側面もある。ぜひ市として前向きに取り組んでいただきたい。

【松井委員】

米と酒の謎蔵、味の謎蔵は医療福祉関係で利用されることになった。従来の温浴施設に拘らず、温浴施設を利用するような高齢者医療的なものも高齢化社会の中で考え方としてあってよいのではないか。

減収補填をするという前提条件があってはならない。企業的な資金力と能力を持った企業をぜひ重点的な業者選定の中に加味してほしい。

【施設経営管理室 竹下室長】

松井委員がおっしゃられる部分はとても重要なことだと思っている。

一方で、従前は地域振興のための施設であり、一定程度その地域振興にどのような役割を担っていくのかといったところも重要な観点かと思っているので、総合的にしっかり判断させていただき、また皆様方のご意見を踏まえながら業者選定をしていきたい。また、ある程度候補者が出た段階で、その事業者が地域の皆様方からこういった支援をいただけるのか、こういった関わりを持っていただけるのか、そういうところをやはり先に話し合うべきだと思っているので、そのような機会を設けながら進めさせていただ

きたいと考えている。

【高橋会長】

住民の思いがやはり一番大切。時代に合った新しい取組、米本陣だけではなくて周辺を生かしたグローバルな取組をしていただきたい。

【松栄委員】

中学生と一緒にまちづくりの活動をしている。中心になってまちづくりに関わっている子ども達に、米本陣が休館してしまった時「あったらいいな こんなホテル」ということでアンケートをとってまとめたものがあるので、参考にしていただきたい。

【高橋会長】

他になれば、以上で、報告事項（1）三和ネイチャーリングホテル米本陣のサウンディング型市場調査について、を終了する。

(施設経営管理室 退席)

【高橋会長】

4 その他に入る。(1)「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた地域協議会における取組の検討について、前回、9月30日の勉強会で、地域協議会での検討事項3項目について、各グループで協議し、発表いただいた。それを事務局からまとめていただいたので順に確認する。

- ・資料No.2、1頁「ア 意見交換について」の「三和区地域協議会における今後の取組(案)」を読み上げ。

これについて、意見を求める。

【松井委員】

この中で色々検討していくということが一番大事。基本的なところについてはこれに基づいてよいと思う。

【高橋会長】

他に何かあるか。

(なしの声)

【高橋会長】

- ・資料No.2、2頁「イ 会議運営について」の「三和区地域協議会における今後の取組(案)」を読み上げ。

これについて、意見を求める。

(なしの声)

【高橋会長】

・資料No.2、3頁「ウ 情報発信について」の「三和区地域協議会における今後の取組（案）」を読み上げ。

これについて、意見を求める。

【松井委員】

現在、地域協議会だよりは、ある程度事務局で作成した原稿案を編集委員が確認するという流れである。我々が自主的に参加する意味合いから、まずは委員が草案を作るという方法もあるのではないか。

【田辺委員】

松井委員の意見は良いと思うが、その場合非常に時間がかかる。事務局の負担もあるが、今までどおり、事務局で草案を作成してもらう方がスムーズかと思う。

【宮澤委員】

前回、事務局が作成した原稿を会議終了後に確認したが、なかなか意見が出しにくい。事務局も委員も大変だが、検討のために集まる時間を作った方がよいのではないか。そうすれば、また色々なことができるかと思う。

【松井委員】

イラスト・写真を工夫して掲載するとなっているが、現在はカラー印刷でないため、せっかくのものが生かされない。経費がかかるからだと思うが、このようなものに対する投資も必要ではないか。事務所として予算化できて、公認するような検討をしてほしい。

【高橋会長】

今は、三和区地域協議会における今後の取組（案）に対する意見を求めている。取組案としては、これでよいか。

(よしの声)

【高橋会長】

では、案のとおり、三和区地域協議会における今後の取組とする。

以上で、(1)「地域協議会に関する意識調査」結果を受けた地域協議会における取組の検討について、を終了する。

その他、事務局から何かあるか。

【小山班長】

青少年育成会議との意見交換会について、事務局経由で北峰会長に話をした。日程案について、来月の地域協議会を11月25日又は24日と考えているが、協議会終了後で調整を進めさせていただいてよいか。青少年育成会議のメンバーの案としては、会長、副会長、各部長、コーディネーターの13名に案内し、都合のつく方に出席いただく形で考えている。

【高橋会長】

この提案について、皆さんいかがか。また、協議会終了後、意見交換会を行うに当たって、次回の地域協議会の開会時間を30分早めて午後6時からにしたいと考えているがいかがか。

【松井委員】

日時については、青少年育成会議の都合のよい日で決めてほしい。

【金子所長】

この日時については、青少年育成会議の会長の意見として、承知いただいている。

【高橋会長】

では、そのように進めさせていただく。

次回の開催日を決定する。

【岩崎次長】

- ・11月25日（木）又は24日（水）のいずれかで、開会時間は午後6時から。
- ・主な内容は、さんわ保育園の民間移管についての報告。

（日程調整）

【高橋会長】

- ・11月24日（水）午後6時からに決定。

他に委員から何かあるか。

【江口委員】

- ・上越名家（林富永邸）秋の一斉公開の案内。

【松栄委員】

- ・青少年育成会議の中学生のまちづくりワークショップ活動の一環として、今年度も谷内池ほとりの松林のライトアップを実施する。

【小林副会長】

さんわ祭り実行委員会が、地域活動支援事業で購入したイルミネーションは活用する
のか。

【松栄委員】

松林には使わずに、中学校正門の植え込み等の場所で活用できればと考えている。

【高橋会長】

以上で、本日の地域協議会を終了する。

【小林副会長】

－挨拶－

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

三和区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL : 025-532-2323 (内線 215)

E-mail : sanwa-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。